

2026 年度入学試験問題  
〔看護学部〕

一般選抜前期日程

# 小 論 文

〔論述（図表理解）〕

## 注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は7ページ、解答用紙は1枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

## 問題

図表 1～6 は，悪性新生物（がん）とがん検診に関する図表です。これらをもとに，以下の設問に答えなさい。

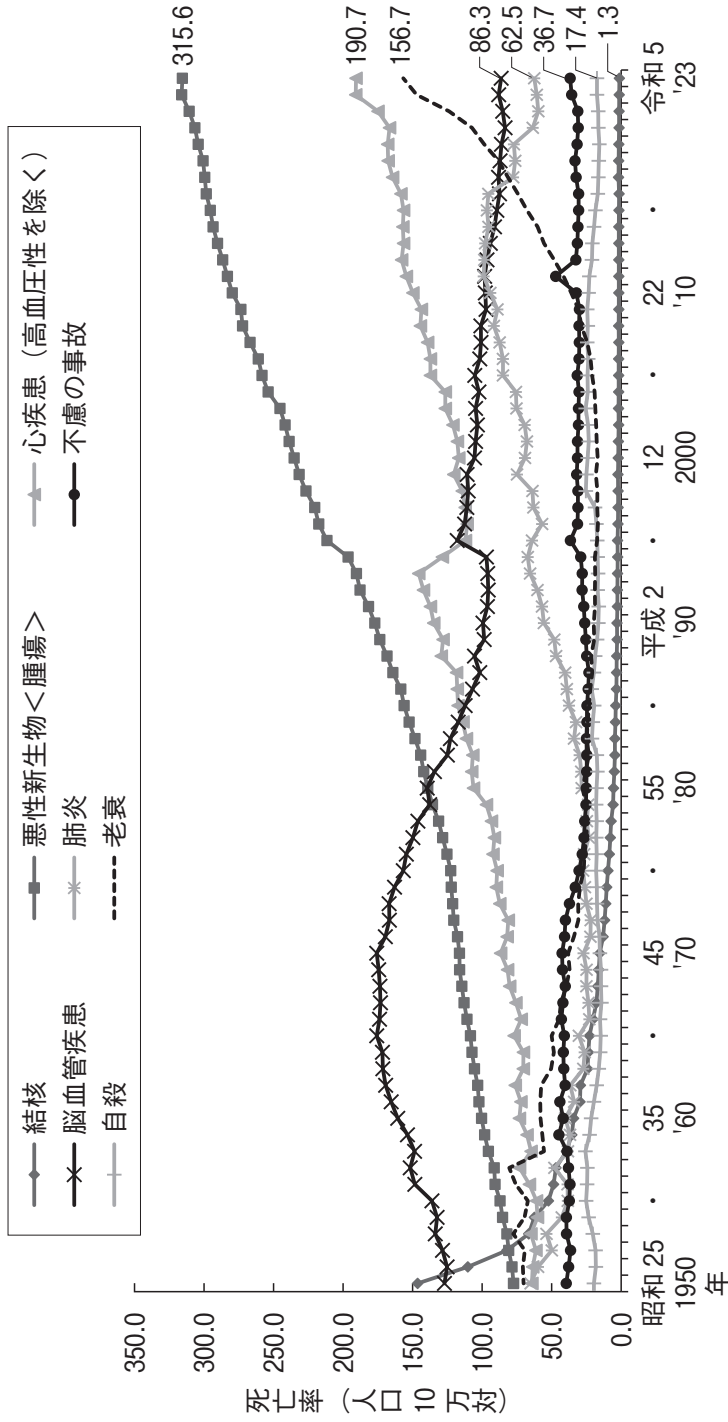
### 設問 1

図表 1，2 をもとに，悪性新生物（がん）の現状について，300 字以内で述べなさい。

### 設問 2

設問 1 の内容を踏まえつつ，図表 3～6 のすべてを用いてがん検診の課題を説明し，その対策についてあなたの意見を 500 字以内で述べなさい。

図表1 主要死因別死亡率の年次推移



(備考) 1. 報告書とは数値が一致しない箇所がある。  
 2. 死因分類の改正により、年次別比較には完全な内容の一致をみることはできない。  
 3. 平成6年(1994年)の心疾患の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書)(平成7年1月施行)における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの、事前周知の影響によるものと考えられる。  
 4. 死因名等は「ICD-10(2013年版)」(平成29年(2017年)適用)による。  
 5. 昭和25年~47年(1950年~1972年)は沖縄県を含まない。  
 6. 昭和34年(1959年)以前は男女不詳を含む。  
 出典：厚生労働省「令和5年人口動態統計」より作成

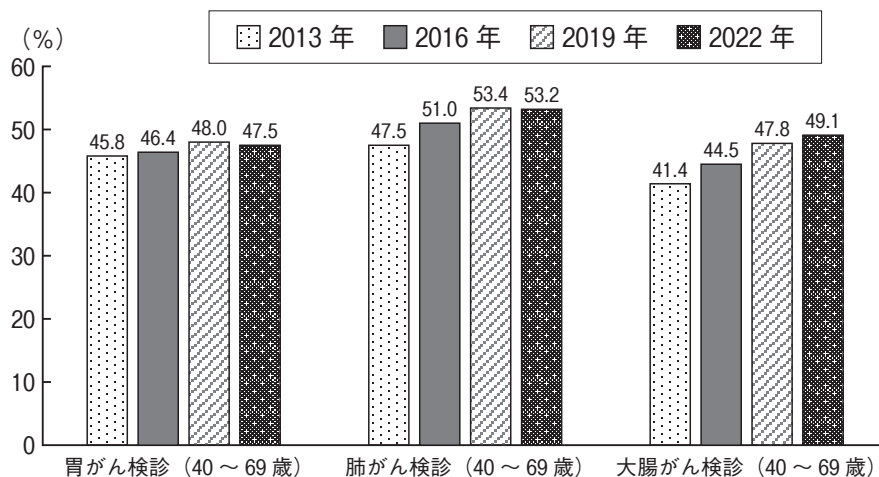
図表 2 主な疾患の医療費の推移

単位：億円

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
悪性新生物	33,792	34,488	35,889	37,067	38,187	39,546	41,534	41,252	42,479	43,661
心疾患 (高血圧性の ものを除く)	17,878	18,203	18,848	19,378	20,390	20,463	20,887	20,420	21,300	21,693
脳血管疾患	17,730	17,821	17,966	17,739	18,081	18,019	18,250	18,098	18,051	18,142
肺炎	3,168	3,237	3,382	3,682	3,645	3,750	3,798	2,613	2,538	2,534

出典：厚生労働省「国民医療費」の医科診療医療費より作成

図表 3-1 がん検診を受診した者の割合（男性）

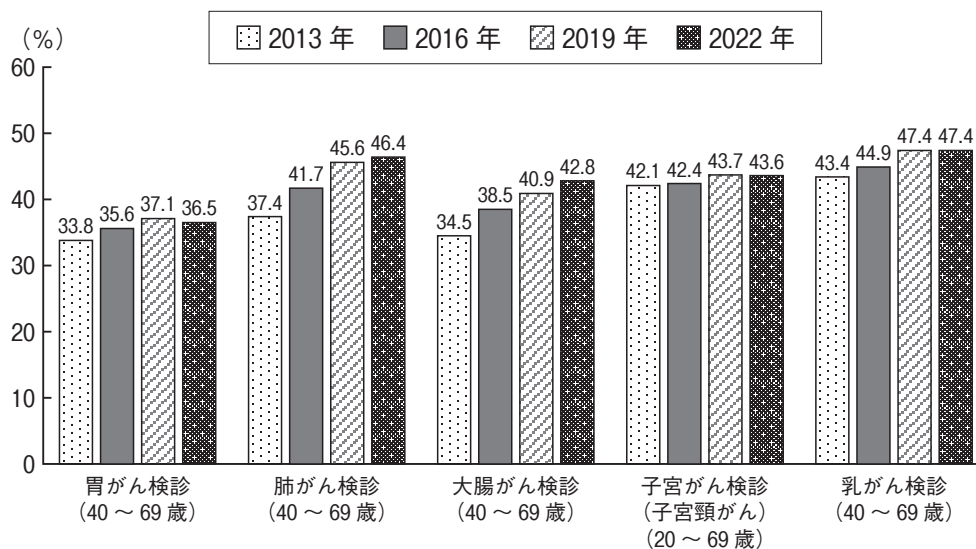


(備考) 1. 入院者は含まない。

2. 2016年の数値は、熊本県を除いたものである。

出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」より作成

図表 3-2 がん検診を受診した者の割合（女性）



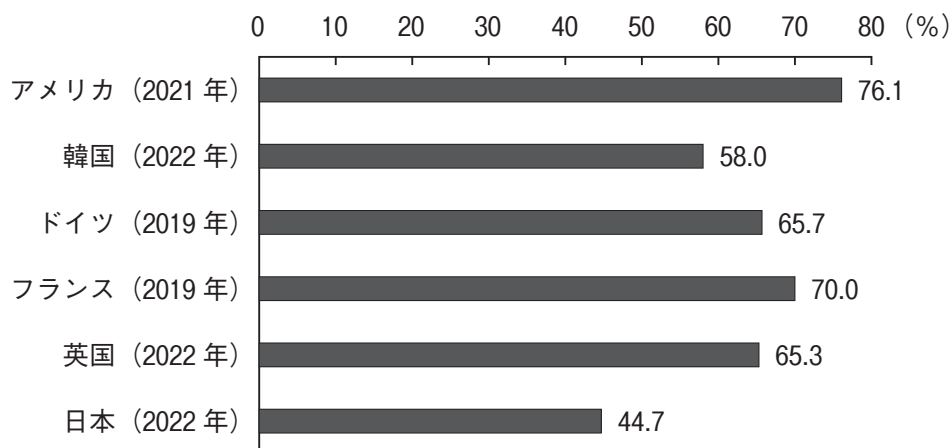
(備考) 1. 入院者は含まない。

2. 子宮がん検診および乳がん検診は過去2年間の受診の有無。

3. 2016年の数値は、熊本県を除いたものである。

出典：厚生労働省「国民生活基礎調査」より作成

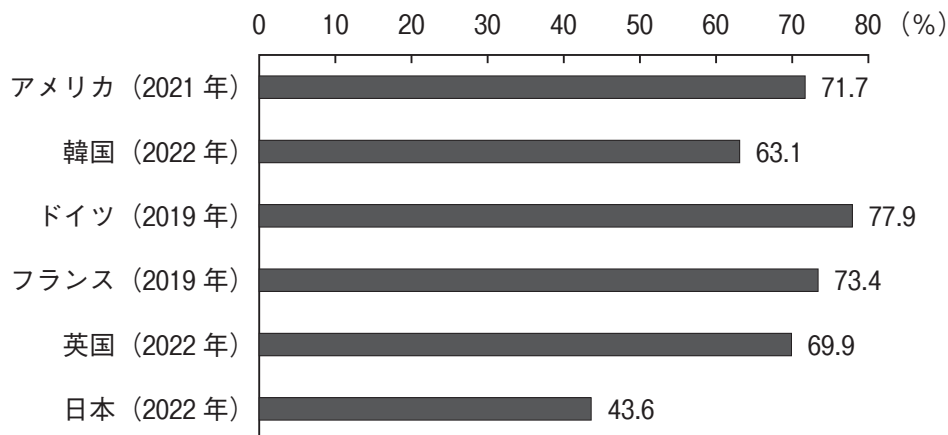
図表 4-1 乳がん検診受診率（50～69歳）の国際比較



- （備考）1. 入院者は含まない。  
 2. 日本は「2年に1度」の受診が推奨されているため、当該年とその前年の検診受診者数の合計（2年分）に基づく受診率。  
 3. 英国は Programme data, その他の国は Survey data

出典：OECD「OECD Health Statistics 2024」より作成

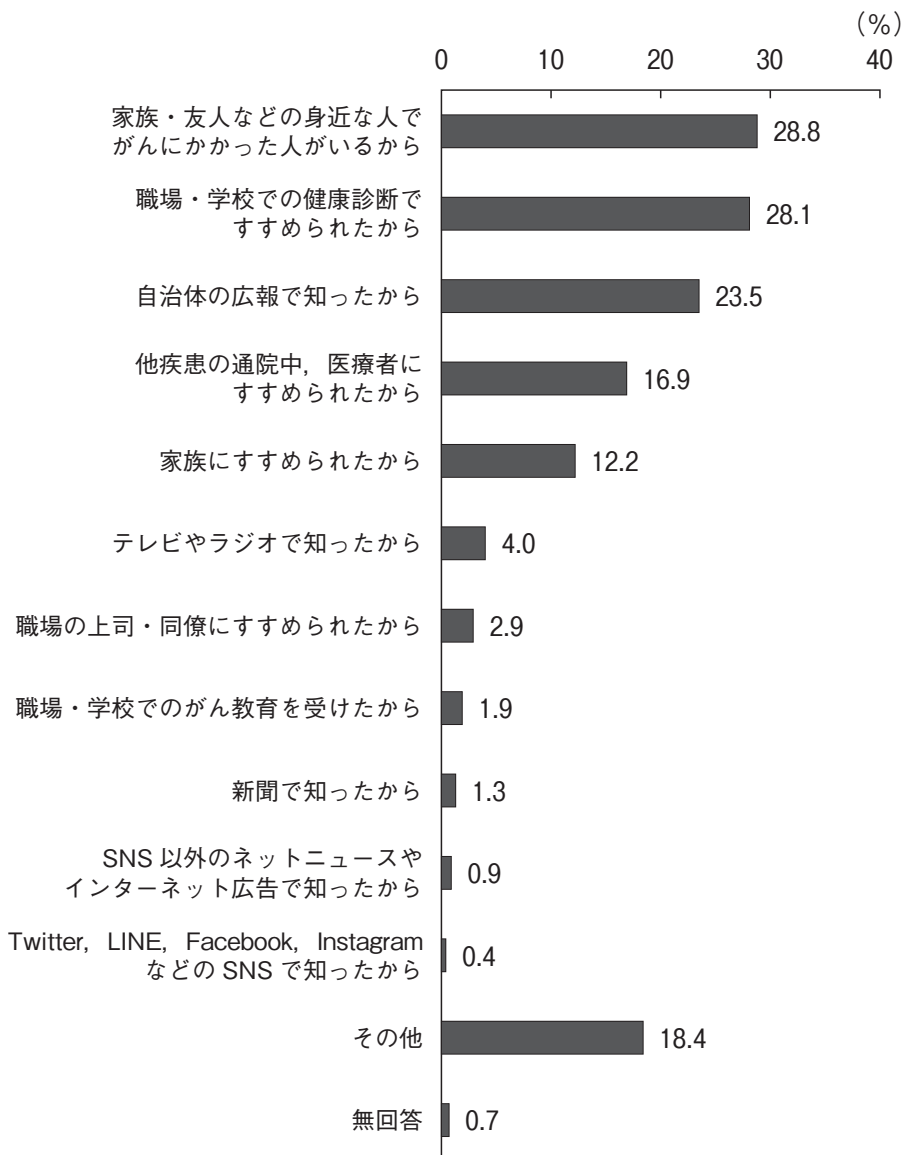
図表 4-2 子宮頸がん検診受診率（20～69歳）の国際比較



- （備考）1. 入院者は含まない。  
 2. 日本は「2年に1度」の受診が推奨されているため、当該年とその前年の検診受診者数の合計（2年分）に基づく受診率。  
 3. 英国は Programme data, その他の国は Survey data

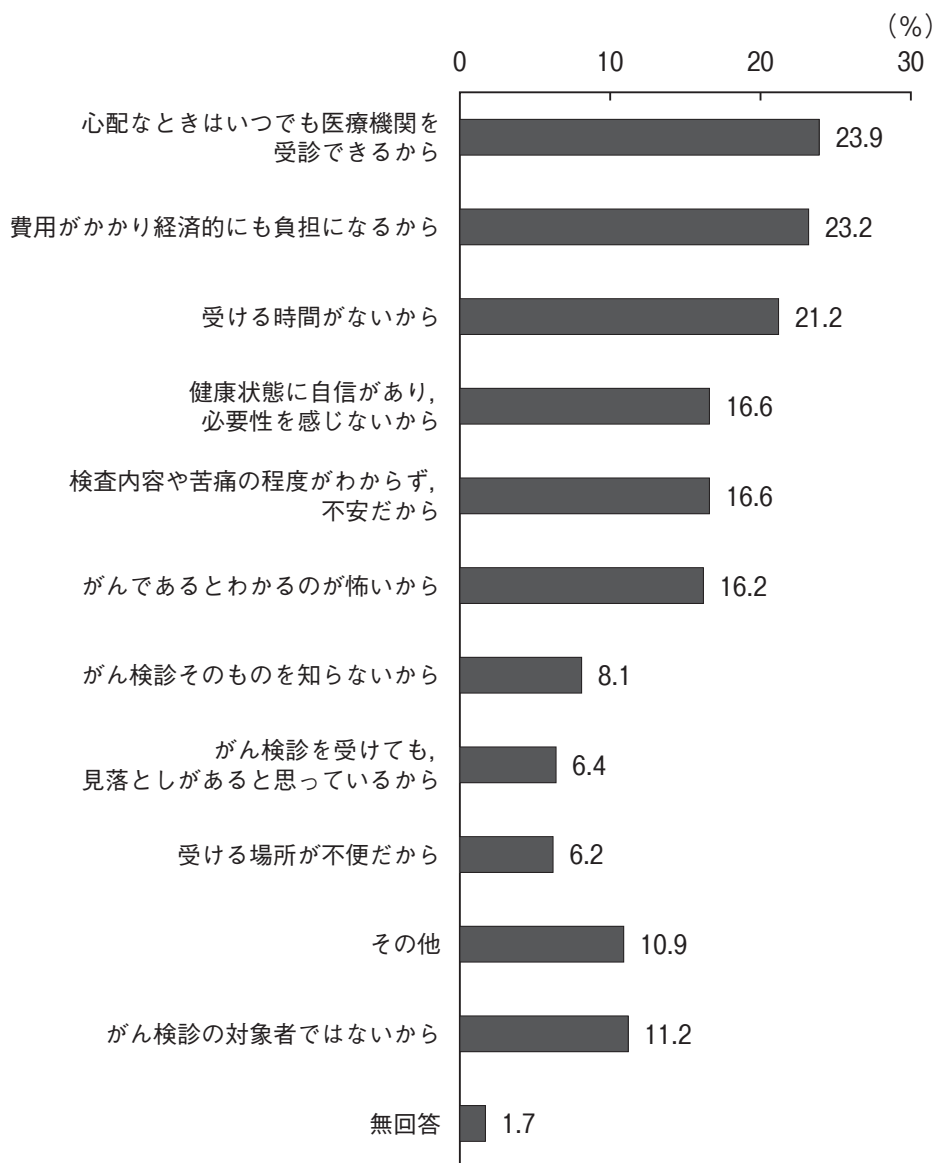
出典：OECD「OECD Health Statistics 2024」より作成

図表5 がん検診を受診した理由（総数 694 人）



（備考）1. がんの予防・早期発見のために胃の内視鏡検査やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「1年以内に受診した」、「2年以内に受診した」と答えた者に、複数回答  
 出典：内閣府「がん対策に関する世論調査（令和5年7月調査）」より作成

図表6 がん検診を受診していない理由（総数 905 人）



（備考）1. がんの予防・早期発見のために胃の内視鏡検査やマンモグラフィ撮影などによるがん検診を「2年より前に受診した」、「今までがん検診を受けたことはない」と答えた者に、複数回答  
 出典：内閣府「がん対策に関する世論調査（令和5年7月調査）」より作成